

君の コンさる君の 今日も視界良好

◎「土業としての原点と自分探し」 中小企業診断士 長尾康行

高校の時からアメリカのドラマにハマって以来、今でも仕事の合間や寝る前の30分程度は見ています。初めて見たのは「ビバリーヒルズ高校白書」でした。お金持ちで有名なビバリーヒルズを舞台に高校生の恋愛や人間関係を描いた青春もののドラマでした。その当時はまだ現在のようにアメリカのドラマを見る文化はそれほど浸透していませんでしたので、共感してもらえる友人も皆無一人で楽しんでいました。大人になっても「24」や「プリズンブレイク」「LOST」など、1作品で長期に渡りシリーズ化されたものは、何十回も見たためにセリフもシーンも覚えてしまいました。

中でも、私が最も影響を受けたドラマは「THE O・C」です。O・Cとはオレンジカウンティ（オレンジ群）の略でその地域にあるニューポートビーチという超富裕層が住むエリアがドラマの舞台です。

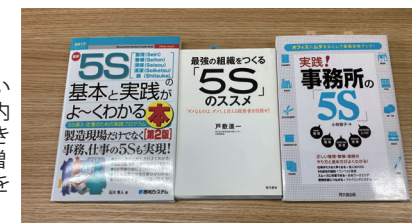
実はそのドラマに出てくる「サンディー・コーエン」という弁護士の考え方や生き方が「かっこいいな」と思ったことが、私自身が本格的に土業を目指すキッカケなのです。サンディー・コーエンは超大金持ちの奥さんと結婚したものの本人は貧しい家庭の育ちでしたので、決して奢ることなく誰に対しても優しい男です。特に家庭環境に恵まれない子供など社会的な弱者を助けることを使命にしている弁護士です。当時の私は確か30歳になる手前でしたが、独立願望があったものの、具体的なビジョンや目標を見出せずに苦しんでいた時期でした。

しかし、「サンディー・コーエンのようにになりたい」と思えたことで目の前の視界が広がっていったことを今でも昨日のように覚えています。（ちなみにサンディー・コーエンが乗っていたのがBMWでしたので、後に私もBMWを買いました。）土業として、人としてどう生きていくべきか道を見失いそうな時はいつも「THE O・C」を見て初心に戻るように心がけています。ドラマや映画などを見て、影響を受けたり、憧れを抱くことは誰でも一度や二度あるかもしれませんが、そこで「なりたい自分」を見つけることができただけでは私にとっては幸運でした。映画やドラマ、読書は自分の知らない世界に連れていってくれるものなので、コロナ禍でどこにもいけないからこそ、知らない世界を見に行く機会を増やし、新しい自分探しの旅に出たいと思います。



◎「良い社風づくりは自分から積極的に！」 事務担当 松野あやか

私は現在、事務所の5S（フラッグシップ経営版）のマニュアルを作成しています。5Sとは「整理・整頓・清掃・清潔・躰」という5つの要素のことです。私が5Sのマニュアルを作成しようと思った理由は、良い社風づくりに自分から積極的に関与し、「掃除のやり方を学ぶのではなく、掃除に学び、気づく人間になる」ことに5Sはとても大切なことだと思うからです。マニュアル作成は私にとって難しいことですが、最初からきれいなパワーポイントで完成させようと思うのではなく、大まかな内容に少しずつ肉付けしていき、周りの意見なども取り入れていき弊社独自の5Sマニュアルを完成させます。私は売上・利益の増加に直接貢献することは困難ですが、バックオフィスでの活動を活性化させることで会社に貢献していこうと考えています。



◎「年齢=今年やること」 椛本啓嗣（ならもとけいじ）

少しずつ暖かくなっていき、桜の時期になりました。今年は人込みの中でお花見はまだ難しそうですが、近くの公園に桜の木が植えられているので、そこでお花見をしたいと思います。さて、2021年が始まりもう3か月経過しました。私は今月で29歳になります。今年はいろいろな経験ができるよう仕事もプライベートも充実させようと思います。

この間、前職でお世話になった社長様と話す機会があり、近況報告している中、最近の若者はどんなことにも目標意識が薄いと聞かれました。その方は、一年間にやることを年齢だけ決めて手帳などに書いて一年でやりきることを目標としているようです。そして、一年の最後に来たかを確認し、その年が満足のいくものだったかを決めているようです。私だと今年で29歳になりますので、29個やりたいことや挑戦することを決めて、行動する必要があるため、この話を聞き早速29個作成しました。今年もあと9か月あるので自分で決めた29個をすべて実行できるように行動していきたいです。



◎「3つのシンカ〜進化・深化・真価〜」 中小企業診断士 木戸貴也

3つのシンカや4つのシンカなどを方針に掲げる企業がありますが、明確な決まりがあるのではなく、企業独自の意味合いを設定していることが多いようです。私は3つのシンカを次のように考えています。

「進化 新しいものに変換すること」→「深化 基準を上げ続けること」→「真価 真の付加価値を提供できる」。この中で、「進化」は、新商品、新市場、新しい機能、新しいメンバーなど新しいものへの変化であり、取り組む企業は多いと思います。一方で、「深化」についてはなかなか難しいように感じます。例えば、「品質基準を上げ続ける」「売上目標を上げ続ける」「サービス基準を上げ続ける」など徹底した取り組みと高いエネルギーが必要です。また、「真価」は同業他社など周りがちょっとやそつとの努力では到底追いつけないレベルまでたどり着くことだと考えています。

弊社もまだまだ「進化」から「深化」の途中段階であり、熱量をもって基準を上げ続けていきます。



◎「行動の習慣化」 インターン生 橋本大治

日々の行動の40%は習慣であると言われています。そのため、学習など良い習慣を生み出すことは自分の成長に大きく寄与すると思います。事務所に来ようになってから読書をする機会が増えましたが、中々習慣化せず後回しにしてしまうことが今でもよくあります。行動を習慣化するには週4回以上を2か月続ける必要があるようです。習慣化する上で、よくある落とし穴が、ペース配分を間違え習慣化する前に辞めてしまうことです。習慣化するためにはまず、少ない時間、低いハードルで続けられるように行うことが大切です。私はこれから読書を習慣づけるため、週に5日程15分読書の時間を設けようと思います。皆さんも習慣づける際は週4回以上2か月を目安に始めてみてください。



発行元：株式会社フラッグシップ経営 経営革新等認定支援機関

〒542-0081 大阪市中央区南船場 4-12-8 関西心齋橋ビル 8階

TEL : 0120-34-8776

FAX : 06-7635-8214

MAIL : info@flagship-keiei.co.jp

URL : www.flagship-keiei.co.jp



株式会社フラッグシップ経営 Facebook ページ

いいね! お待ちしております。



株式会社フラッグシップ経営 Twitter

@flagship_keiei にて随時情報発信中!

